

美野里中学校区小中一貫教育  
今年度の取組の成果と課題

教科・領域	今年度の取組の成果と課題
保健・食育	<p>成果：各学校で実施した朝食摂取を訴えた動画観賞では、それぞれの学校で多くの児童・生徒が真剣に聞く姿が見られた。</p> <p>課題：保護者向けに、朝食摂取の大切さを伝えることが必要。</p>
安全教育	<p>成果：各教科や保健の指導と絡めて、安全教育について各学校で計画的に取り組むことができた。</p> <p>課題：小中学校間で、自転車の乗り方に関する動画や資料を十分に共有できなかった。各校それぞれ独自に取り組んでいることもあるので、内容について共通理解することが難しい。</p>
生徒指導	<p>成果：中学校見学を行い、中学生活のイメージをもつことができた。</p> <p>課題：校則の見直しについても、今後の生徒指導主事情報交換にて実施予定。</p>
特別活動	<p>成果：学校ごとに期間を決めて挨拶運動を実施できた。 中学校主体での企画での中学校見学会、生徒指導主事訪問を実施できた。</p> <p>課題：施設が離れており、人的交流が難しく、今後の交流の在り方を検討する必要がある。</p>
人権教育	<p>成果：目標値を達成するための手立てを全校で実施することができた。</p> <p>課題：学校間の情報共有をクラスルームを活用して行う。</p>
国語	<p>成果：生徒の音読や発声に対する抵抗感は減った。</p> <p>課題：授業で音読を継続することは難しい。生徒によっては、読めないことの再認識になってしまうことで意欲が低減してしまう。</p>
算数・数学	<p>成果：100マス計算の実施をすることができた。各学校の実態に応じて取り組みながら、取り組むことができた。</p> <p>課題：報告するにあたって％で表せる学校とそうでない学校があった。話し合いの中で数字（％）以外のものがあれば、実態に応じて取り入れていく必要がある。</p>
理科	<p>成果：児童生徒が目的意識をもって主体的に学習へ取り組む姿が多く見られた。 安全意識が高まり、安心して活動できる学習環境が整った。</p> <p>課題：専門外の教員が実験授業を担当する際に、準備や運営面に課題が見られた。 理由を説明したり考察したりする力に個人差がある。</p>
社会	<p>成果：教師が資料の読み取りを意識することで、児童生徒に資料をじっくりと見る姿勢がみられるようになった。 教師が積極的に資料を提示したことにより、児童生徒に複数の資料を関連付けてみるような態度が見られるようになった。</p> <p>課題：写真や図など視覚的にとらえやすい資料については、積極性が見られたが、グラフなど数値の変化からわかることを表現することに課題が残った。 児童生徒の取り組みに個人差がみられる。</p>
外国語	<p>成果：授業が分かる、授業が楽しいと答えた児童の目標値を達成することができた。 フォニックスの導入と市英語教育法での研修を行い、教職員の指導力向上につなげた。</p> <p>課題：学校間に児童生徒の意識調査の差が大きく見られた。 職員間に外国語の指導に関して温度差が感じられる。</p>
保健体育	<p>成果：各校サーキットトレーニングなどを取り入れ体力向上策を継続している。</p> <p>課題：体力テスト結果に学校間の差がある。 児童・生徒が主体的に活動する機会の創出 D+Eの児童が増加傾向なので、基礎体力の向上策は継続が必要。</p>